

コピー

坂本理事

コピー安全対策委員会 渡辺先生

コピーメーカール委員会 古谷先生

c.c. 安井・小駒

本会加盟・準加盟団体事務局長 殿

事務連絡
平成 25 年 1 月 7 日



公益財団法人 日本体育協会
総務部 総務課

スポーツによる脳損傷を予防するための提言に関する情報提供について

平素より本会諸事業に多大なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、文部科学省スポーツ・青少年局より別添のとおりスポーツによる脳損傷を予防するための提言に関する情報提供がありました。参考にご送付いたしますので、関連するスポーツ大会や各種事業においてご留意いただくとともに、必要に応じて貴団体関係諸機関に対し、ご周知いただきますよう何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【本件に関するお問合せ先】

公益財団法人日本体育協会

総務部総務課

TEL : 03-3481-2200

FAX : 03-3481-2284



事 務 連 絡
平成25年12月20日

公益財団法人 日本体育協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟
公益財団法人 日本中学校体育連盟
公益財団法人 日本高等学校野球連盟

御中

文部科学省スポーツ・青少年局
参事官（体育・青少年スポーツ担当） 付

スポーツによる脳損傷を予防するための提言に関する情報提供について

先般、一般社団法人日本脳神経外科学会によりスポーツによる脳損傷を予防するための提言が発表され、その内容について別添のとおり情報提供がありましたので、各団体における事故防止、安全管理の取組を進める際の御参考までにお送りします。

なお、本件については、各都道府県教育委員会等にも連絡していることを申し添えます。

【本件照会先】

文部科学省 スポーツ・青少年局
参事官（体育・青少年スポーツ担当） 付
スポーツ安全係
電話：03-5253-4111（内線 3776）

平成 25 年 12 月 16 日

スポーツによる脳損傷を予防するための提言

一般社団法人日本脳神経外科学会

日本脳神経外科学会ならびに日本脳神経外傷学会は、「スポーツによる脳損傷」を予防するための研究を行い、それにもとづいて可能な限り最善の診療を行うよう努力してきた。

しかし、医師は、患者ならびに関係者の行動を規制することができない。したがって、的確な診療を行うには、国民の理解が不可欠である。この提言は、「スポーツによる脳損傷」について、国民が認識しておくべき必須の事項を整理したものである。

- 1-a. スポーツによる脳振盪は、意識障害や健忘がなく、頭痛や気分不良などだけのこともある。
- 1-b. スポーツによる脳振盪の症状は、短時間で消失することが多いが、数週間以上継続することもある。
- 2-a. スポーツによる脳振盪は、そのまま競技・練習を続けると、これを何度も繰り返し、急激な脳腫脹や急性硬膜下血腫など、致命的な脳損傷を起こすことがある。
- 2-b. そのため、スポーツによる脳振盪を起こしたら、原則として、ただちに競技・練習への参加を停止する。競技・練習への復帰は、脳振盪の症状が完全に消失してから徐々に行なう。
3. 脳損傷や硬膜下血腫を生じたときには、原則として、競技・練習に復帰するべきではない。